

令和6年度 学校経営の概要

1. 教育目標

生きる力を育み、自立した生徒の育成

確かな学力と学習意欲の育成 豊かな心の育成 健やかな心身の育成

2. めざす生徒像

- 確かな学力をつけ、進んで学ぶ生徒
 - ・ 基礎基本を確実に身につけようと努力する生徒
 - ・ 学ぶ楽しさや分かる喜びを感じ、進んで学ぼうとする生徒
 - ・ 将来の夢や目標の実現に向かってねばり強く努力する生徒
- 豊かな心をもつ生徒
 - ・ 自他のよさに気づき、相手を思いやる生徒
 - ・ 他者へ思いを馳せ、仲間とともに創造する生徒
 - ・ 地域の自然・文化・伝統・産業や地域の人々のよさを感じとる生徒
- 健やかな心身の育成
 - ・ よりよい生活習慣をめざす生徒、よりよい人間関係を築こうとする生徒
 - ・ 規範意識と人権意識を高め、社会人としての基礎基本を身につけた生徒
 - ・ 地域に誇りを持ち、すすんで役立とうとする生徒

3. 学校経営の基本方針 生徒、保護者・地域の方、職員にとって「魅力ある学校」

(1) 生徒にとって「魅力ある学校」づくりの推進

～授業づくりと集団づくりを通して～

- 主体的、対話的で深い学びの視点から、より魅力的な授業づくりを推進する。
- 「多様性と寛容性」を keyword に絆づくり、居場所づくりに努め、発達支持的生徒指導、人権教育、特別支援教育を推進する。
- 小規模校の良さを生かしながら、生徒一人一人の個性が発揮され、自己有用感を感じるこ
とのできる学級経営や特別活動の充実を推進する。

(2) 保護者・地域の方にとって「魅力ある学校」づくりの推進

～「協力したい」「応援したい」学校～

- 家庭・地域と学校の育成したい資質・能力を共有し、学校の方針を丁寧に説明するとともに、対話や議論を通して人的・物的資源を活用した連携・協働の取組を推進する。
- 家庭との連携を密にし、生徒の努力や成長がみられる姿を積極的に発信するとともに、服務規律を徹底し信頼関係の構築を図る。

(3) 職員にとって「魅力ある学校」づくりの推進

～ 職員の個性や主体性、多様性が活かされる同僚性のある職員集団 ～

- 「互いに尊重し協力しあう職員集団」として職務に取り組めるよう、組織体制を構築する。
- 「チーム旭中」の一員として、職員それぞれが各分野の専門家であるという自覚のもと、「学び続ける」姿勢をもち研鑽を深めるとともに、情報交換やOJTを推進し協働体制を築き、それぞれの資質・能力と組織力の向上を図る。
- 職場環境の改善や働き方改革を推進し、職員の心身の健康の保持に努める。